

# ネットワーク管理

教科	商業	単位数	4	学科・学年	総合ビジネス科2年生
使用教科書	ビジネス情報管理（実教出版）			副教材等	IT戦略とマネジメント （インフォテックサーブ）

## ◇学習の到達目標◇

情報セキュリティ管理や情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理に取り組む実践的な活動を通して、情報資産を共有し保護する環境の提供について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにする。

## ◇科目の特色◇

情報セキュリティ管理の重要性や、情報通信ネットワークの設計および構築とその運用管理について実践的に学びます。情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質や能力を身に付ける科目です。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	<b>【教科書「ビジネス情報管理」】</b> 第1章 ビジネスと情報システム 1) ビジネスと情報の管理 2) 情報システムと業務の合理化 第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理 1) 情報通信ネットワークのしくみと通信方法 2) ネットワーク機器 第4章 ビジネスと情報システムの課題と展望 1) セキュリティの管理 2) 情報システムの課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスにおける情報の一元管理や情報共有をする重要性を学ぶ。</li> <li>・ 情報通信ネットワークの構築に必要なネットワーク機器の種類と機能について理解させる。</li> <li>・ 情報システムの抱えるセキュリティ上の課題やその対策手法について学ぶ。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【前期中間考査】</b></p>
7 8 9	第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理 3) 情報通信ネットワークの設計 4) ハードウェアとソフトウェアの導入 5) 運用管理 第3章 ビジネス情報システムの開発 1) 企業の経営戦略 2) システムの開発手法 3) システム開発の手順	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、情報処理システム等に関する基本的な知識・技術を学ぶ。</li> <li>・ データベースや通信ネットワークの概念や仕組み、運用手法について学ぶ。</li> <li>・ 今日のIT社会を支えている情報システムを中心とした、ビジネスにおける戦略の概要について学習する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【前期期末考査】</b></p>
10 11 12	<b>【副教材「IT戦略とマネジメント」】</b> 第1部 企業と法務 第2部 経営戦略 第3部 情報システム戦略 第4部 開発技術 第5部 プロジェクトマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業活動に関わる法規、ガイドライン、標準化について学習する。</li> <li>・ 今日のIT社会を支えている情報システムを中心とした、ビジネスにおける戦略の概要について学習する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【後期中間考査】</b></p>
1 2	第6部 サービスマネジメント 第7部 システム監査と内部統制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ITサービスの日常的な運用・管理であるサービスサポートや、中長期の運用・管理であるサービスデリバリー等について学習する。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【後期期末考査】</b></p>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	情報資産を共有し保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。
思考・判断・表現	情報資産を共有し保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組んでいるか。

## ◇担当者からのメッセージ◇

通信ネットワークに関する知識・技術を習得しながら、情報システム管理者としての資質を学ぶ科目です。基本情報技術者試験の合格を目指しながら、実践的な力を身に付けましょう。

# ビジネス法規

教科	商業	単位数	4	学科・学年	総合ビジネス科2年生
使用教科書	経済活動と法（実教出版）			副教材等	全商商業経済検定模擬試験問題集1・2級 ビジネス法規（実教出版）

## ◇学習の到達目標◇

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を身につける

## ◇科目の特色◇

経済のグローバル化、規制緩和、情報化など経済環境が変化する中で、法規に基づいてビジネスを適切に展開するために必要なことを学習します。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	(1) 法の概要	ビジネスにおける法の役割、法の体系と解釈・適用など法に関する知識などを基盤として、法の意義と課題について自らの考えをもつ。 また、適切なビジネスの展開についての意識と意欲を高め、組織の一員としての役割を果たすこと重要性について学習する。
	(2) 企業活動と法規	企業活動に係る法規に関する知識などを基盤として、法的な根拠に基づいた適切な企業活動の展開について学習する。 <span style="float: right;">【前期中間考査】</span>
7 8 9	(3) 知的財産と法規	知的財産に係る法規に関する知識などを基盤として、法的な根拠に基づいた知的財産の適切な保護と効果的な活用について、学習する。 <span style="float: right;">【前期期末考査】</span>
10 11	(4) 税と法規	税に係る法規に関する知識などを基盤として、法的な根拠に基づいた税に関する適切な手続について学習する。 <span style="float: right;">【後期中間考査】</span>
12 1 2 3	(5) 企業責任と法規	企業責任に係る法規に関する知識などを基盤として、法的な根拠に基づいた適切に企業責任を果たすことについて学習する。 <span style="float: right;">【後期期末考査】</span>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	ビジネスに関する法規について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、ビジネスのさまざまな場面で役に立つ法規に関連する知識や技術を身につけているか。
思考・判断・表現	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わるものとして法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけているか。
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに責任をもって主体的かつ協働的に取り組んでいるか。

## ◇担当者からのメッセージ◇

ビジネスはさまざまな法律の上で展開されています。みなさんがいま平和に過ごしているのも法律というルールがあるからです。皆さんには馴染みの弱い部分ではありますが、今後の生活でどこかで役に立つ知識が得られるかもしれません。

# 財務会計 I

教科	商業	単位数	4	学科・学年	総合ビジネス科（総合コース）2年生
使用教科書	高校財務会計 I（実教出版）			副教材等	反復式 学習と検定 会計問題集 全商 1 級 会計、模擬試験問題集

## ◇学習の到達目標◇

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。

## ◇科目の特色◇

財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。  
全商簿記検定 1 級（会計）の取得を目指す。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	1. 財務会計の基礎 2. 資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計の意味、目的及び歴史を通して、会計の必要性を理解する。</li> <li>・ 会計法規の種類とその目的について理解する。</li> <li>・ 資産の意味・分類及び評価とその処理法を理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 8 9	3. 負債と純資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負債の意味・分類及び評価とその処理法を理解する。</li> <li>・ 純資産の意味・分類及びその処理法を理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11 12	4. 損益計算 5. 財務諸表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 損益計算の意味を理解する。</li> <li>・ 報告式の貸借対照表を作成する。</li> <li>・ 報告式の損益計算書を作成する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2 3	連結財務諸表 検定学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連結財務諸表を作成するための知識を身に付ける。</li> <li>・ 財務諸表分析の意味と方法を理解する。</li> <li>・ 総合問題を行い、理解度を確認する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【学年末考査】</p>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	財務会計の基礎的な知識や財務諸表作成にあたり必要な知識を理解するとともに、関連する技術を身につけているか。(テスト)
思考・判断・表現	会計を学ぶことの意義と必要性や財務諸表の活用に関して、自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断できるようになったか。(テスト・レポート)
主体的に学習に取り組む態度	企業会計の制度とそれを支える会計諸則や財務諸表の活用などに関心を高め、積極的に学習しようとする態度が見られたか。(レポート・授業態度)

## ◇担当者からのメッセージ◇

高度な学習内容ですが、身につけておくと将来使える知識として役に立ちます。1年次の簿記より内容は濃くなりますが、より幅広い内容で学習していくにつれ楽しくなっていきます。苦手だった生徒も、努力次第でできるようになります。1月には全商簿記検定試験 1 級（会計）を受験するので、合格を目指して頑張りましょう。

# 原価計算

教科	商業	単位数	3	学科・学年	総合ビジネス科2年生 (総合コース)
使用教科書	原価計算 (実教出版)			副教材等	反復式 学習と検定 原価計算問題集 全 商1級 原価計算、模擬試験問題集

## ◇学習の到達目標◇

- ①製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得し、原価の概念を理解します。
- ②原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付けます。

## ◇科目の特色◇

原価計算の基本的な考え方と計算法及び工業簿記の記帳法を習得し、原価についての理解を深めます。  
全商簿記検定1級(原価計算)受験に向けて取り組みます。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5	1. 原価計算の基礎 2. 原価の費目別計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価の意味と分類及び原価計算の目的と種類を理解する。</li> <li>・材料費・労務費・経費の分類、計算と記帳法及び予定価格を用いた合理的な計算法を理解する。</li> <li>・原価計算表の作成、原価計算表と製造勘定との関係、製造間接費の配賦法及び製造間接費差異の原因別分析方法を理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
6 7 8	3. 原価の部門別計算と製品別計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算の基本的な流れについて理解する。</li> <li>・総合原価計算の特色及び月末仕掛品原価の計算と記帳法について理解する。</li> </ul>
9	4. 製品の完成・販売と決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場会計が本社会計から独立している場合の本社と工場間の取引の記帳法について理解する。</li> <li>・製造業における決算の特徴と製造原価報告書の作成方法を理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11	5. 標準原価計算の基礎 6. 直接原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーシャルプランによる記帳法について理解する。</li> <li>・直接原価計算の方法及び直接原価計算による損益計算書の作成方法について理解する。</li> <li>・売上高、原価、利益の関係について理解する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
12 1 2	7. 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答練問題、演習問題に取り組む。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造を理解し、情報を的確に処理することができる。(テスト)
思考・判断・表現	各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し表現する能力を身に付けている。(テスト・レポート)
主体的に学習に取り組む態度	製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(レポート・授業態度)

## ◇担当者からのメッセージ◇

製造業は、世界と比較しても優れた技術を持つ、日本経済の発展を担ってきた重要な産業であります。  
原価計算は、その製造業の購買活動・製造活動・販売活動のうち、製造活動の会計を学ぶ教科です。原価の計算法および工業簿記の仕組み・帳簿への記帳方法、原価情報の活用などについて学習します。原価計算を学び、企業経営における会計の役割を、より広い角度から把握し、他の科目と併せ、学習の効果を一層高めていただきたい。

# 原価計算

教科	商業	単位数	4	学科・学年	総合ビジネス科2年生 (会計コース・進学クラス)
使用教科書	原価計算 (実教出版)			副教材等	「合格セット日商2級」(TAC株式会社)

## ◇学習の到達目標◇

- ①製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得し、原価の概念を理解します。
- ②原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身に付けます。

## ◇科目の特色◇

原価計算の基本的な考え方と計算法及び工業簿記の記帳法を習得し、原価についての理解を深めます。  
日商簿記検定試験2級・全商簿記検定1級(原価計算)受験に向けて取り組みます。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	1. 原価計算の基礎 2. 原価の費目別計算 3. 原価の部門別計算と製品別計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価の意味と分類及び原価計算の目的と種類を理解する。</li> <li>・材料費・労務費・経費の分類、計算と記帳法及び予定価格を用いた合理的な計算方法を理解する。</li> <li>・原価計算表の作成、原価計算表と製造勘定との関係、製造間接費の配賦法及び製造間接費差異の原因別分析方法を理解する。</li> <li>・部門別個別原価計算の基本的な流れについて理解する。</li> <li>・総合原価計算の特色及び月末仕掛品原価の計算と記帳法について理解する。 【前期中間考査】</li> </ul>
7 8 9	4. 製品の完成・販売と決算 5. 標準原価計算の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場会計が本社会計から独立している場合の本社と工場間の取引の記帳法について理解する。</li> <li>・製造業における決算の特徴と製造原価報告書の作成方法を理解する。</li> <li>・パーシャルプランによる記帳法について理解する。 【前期期末考査】</li> </ul>
10 11 12	6. 直接原価計算の基礎 7. 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接原価計算の方法及び直接原価計算による損益計算書の作成方法について理解する。</li> <li>・売上高、原価、利益の関係について理解する。</li> <li>・答練問題、演習問題に取り組む。 【後期中間考査】</li> </ul>
1 2	8. 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答練問題、演習問題に取り組む。 【後期期末考査】</li> </ul>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、原価計算の基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造を理解し、情報を的確に処理することができる。(テスト)
思考・判断・表現	各種の原価計算の方法や記帳法、原価情報の活用などについて、自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し表現する能力を身に付けている。(テスト・レポート)
主体的に学習に取り組む態度	製造業における原価計算と工業簿記に興味を示し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(レポート・授業態度)

## ◇担当者からのメッセージ◇

製造業は、世界と比較しても優れた技術を持つ、日本経済の発展を担ってきた重要な産業であります。  
原価計算は、その製造業の購買活動・製造活動・販売活動のうち、製造活動の会計を学ぶ教科です。原価の計算方法および工業簿記の仕組み・帳簿への記帳方法、原価情報の活用などについて学習します。原価計算を学び、企業経営における会計の役割を、より広い角度から把握し、他の科目と併せ、学習の効果を一層高めていただきたいと思います。

# 財務会計 I

教科	商業	単位数	6	学科・学年	総合ビジネス科2年生 (会計コース・進学クラス)
使用教科書	高校財務会計 I (実教出版)			副教材等	会計サポート、模擬試験問題集

## ◇学習の到達目標◇

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- (3) 会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## ◇科目の特色◇

1年次に学習した簿記の内容を、さらに深く学習する科目である。日商簿記検定試験2級受験に向けて取り組む。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	1. 財務会計の基礎 2. 資産 3. 負債と純資産 4. 損益計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計の意義や役割、財務会計と管理会計の役割の違い、会計公準の概要、会計情報を開示することの重要性などについて理解する。</li> <li>・ 資産と負債の分類、評価基準、各種の資産と負債の会計処理などについて理解すること。</li> <li>・ 株式会社の純資産の会計処理について理解すること。</li> <li>・ 工事契約、外貨建取引、役務収益、役務費用など収益と費用の会計処理について理解すること。</li> <li>・ 株式会社における税の会計処理及び税効果会計に関する基礎的な会計処理について理解すること。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 8 9	5. 財務諸表の作成 6. 財務諸表の活用 7. 連結財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告式の財務諸表の表示区分と作成方法及び株主資本等に関する財務諸表の作成方法について理解すること。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11 12	検定学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答練問題、演習問題に取り組む。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
1 2	検定学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答練問題、演習問題に取り組む。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	財務会計に関する理論的な知識と技術にとどまらず、実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ実務に即した知識と技術を身に付けている。 (テスト・レポート・問題集)
思考・判断・表現	財務会計に関する理論、企業活動の流れなど科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく課題に対応する力及び財務指標を組み合わせて企業の実態を総合的に分析する力を身に付けている。 (テスト・レポート・問題集)
主体的に学習に取り組む態度	適正な会計処理、財務諸表の作成と分析などによる会計情報の提供と効果的な活用に責任をもって取り組む態度を身に付けている。 (授業態度)

## ◇担当者からのメッセージ◇

高度な学習内容ですが、日商簿記検定2級合格を目指して頑張りましょう。

# 課題研究

教科	商業	単位数	2	学科・学年	総合ビジネス科2年生
使用教科書				副教材等	全商ビジネス計算実務検定 $\text{F}$ 1級 全商ビジネス文書実務検定 $\text{F}$ 1級

## ◇学習の到達目標◇

ビジネス社会において即戦力となる能力の向上を目標とする。

## ◇科目の特色◇

実際のビジネスや生活の中で、利用されている計算技術やビジネス文書作成方法について学習します。また、3年生の課題研究と連携し、課題を解決する力とビジネスの創造する力を身に付けます。

## ◇学習の計画◇

月	単元名	主な学習活動
4 5 6	第1章 ビジネス計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電卓の基本的な操作方法を学習する。</li> <li>・ ビジネスにおいて必要となる実務的な計算技術を学習する。</li> <li>・ 全商ビジネス計算実務検定1級取得に向けて実践的な学習をする。</li> </ul>
7 8 9	第2章 ビジネス文書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章作成ソフトウェアの基本的な操作方法を学習する。</li> <li>・ 文章作成ソフトウェアの各種機能を学習する。</li> <li>・ ビジネス文書の種類や用語、ことばの知識を学習する。</li> <li>・ 全商ビジネス文書実務検定1級取得に向けて実践的な学習をする。</li> </ul>
10 11		
12 1 2 3	第3章 3年生課題研究連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年生の課題研究と連携し、地域の課題解決に取り組む。</li> </ul>

## ◇評価の観点・方法◇

評価は、次の三つの観点から行います。

知識・技術	ビジネスにおける計算技術と文書作成技術を体系的・系統的に理解するとともに、これらをビジネスの場で実践できる技術力を身につけているか。
思考・判断・表現	3年生との課題研究連携を通して、課題解決に向けて思考し、自ら意見を表現しようとしているか。
主体的に学習に取り組む態度	3年生との課題研究連携を通して、課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組んでいるか。

## ◇担当者からのメッセージ◇

常に変化している社会。そのスピードは年を追う毎に早くなっています。これからの社会を担うみなさんは、答えのない課題を自分の力で考え、周りの人たちと協力しビジネスを創造しようとする能力が問われます。その資質・能力を高め、即戦力になる人財。